



安心して暮らせる街へ

「ハザードマップ」洪水避難地図



Q1 洪水ハザードマップとはなんですか？

～安全に避難ができるように～

洪水ハザードマップとは、水害が起った際に安全な避難できるよう、市町村が主体となって作成したマップのことで、浸水予想区域や、避難情報などをわかりやすく地図に表したものです。



■ハザードマップを発行している市町村

・山形	・米沢	・真室川	・尾花沢
・中山	・大江	・鶴岡	・大蔵村
・村山	・高島	・酒田	
・河北	・天童	・庄内	
・東根	・大石田	・三川	



Q2 具体的にどのように役立てればいいのですか？

～水害時の必要な避難情報を得るために～

洪水ハザードマップから、水害時の自宅や地域の浸水予想を知ることができ、避難場所の確認や避難する際の必要な情報を得ることができます。内容をよく理解することで、いざというときの水害でこのマップを有効に活用することができます。この洪水ハザードマップをいつでも取り出せるような場所に保管し、家族で水害に遭った場合の対応について話し合うことが大切です。

水防法改正後、直轄及び県の浸水想定区域が公表されている区間の地町村はハザードマップを整備されることになり
山形県内では全ての市町村が作成することになりました。



Q3 どんな内容が記載されているのですか？

次のような内容が記載されています。

浸水想定区域

避難場所

避難時の心得

洪水予報の伝達方法

避難情報の伝達方法

等

(地域により、若干内容は異なる)



水害は忘れたころにやってきます。

万一水害が起きたときのために、洪水ハザードマップをよく理解し、日頃から防災意識を高め、安全に避難ができるようにあらかじめ備えておきましょう。

災害への備え

「自主防災組織」

自主防災組織とは？

自主防災組織とは、地域の方々が連携し防災活動を行う組織のことをいいます。いざ災害となった場合には、負傷者の救出や救護、初期消火、住民の避難誘導、避難所の運営などに従事します。住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが、自主防災組織の役割です。



自主防災組織に参加しましょう

もし、大規模災害(地震、風水害)が発生したら、あなたの地域は大丈夫ですか？

災害はいつやってくるかわかりません。万一発生したときに、効率良く対応するため、地域ごと消防訓練や救助訓練など、防災訓練に積極的に参加しましょう。



土のう積み演習



炊き出し訓練



避難誘導演習



炊き出し訓練

自主防災組織がない場合は、組織の結成をしよう！

自分たちの地域を自分たちで守る。隣近所の人々が集まりお互い協力しながら防災活動に取り組むことで、災害事に被害や混乱を最小限に抑えることが出来るのです。

非常時

- 関係機関との連絡
- 救出、救護
- 初期消火
- 避難誘導
- 二次災害の防止

平常時

- 役員会、総会の開催
- 防災計画、防災マップ等の作成
- 防災訓練の実施
- 各班の活動への指示